



【目指す児童像】

自分が好き 友達が好き 学校が好き 東谷が好き

【統一理念(コンセプト)】「やる気」「根気」「負けん気」

いろんな学年の友達ができるよ～縦割り活動～

7月に入り、大雨が降ったり、気温がぐんと上がったりして、過ごしづらい日が続いています。先日の休校の際には、突然だったにもかかわらず、各ご家庭で対応していただき、ありがとうございました。

さて、本年度、学校全体で取り組んでいることの一つとして、「縦割り活動の充実」があります。縦割り活動とは、各学年の子ども数名ずつで構成される13～14名の縦割りグループで行う活動です。グループは8つあります。昨年度までも行っていましたが、本年度はさらに活動の機会を増やすことにしています。

やるこんタイム 朝の運動(木曜日)

運動場に出て、縦割りグループの人と一緒に、遊具を使って遊んだり、縄跳びやスキップ運動をしたりします。運動の内容は、前日までに6年生が考えて、当日、下級生に伝えます。上級生が下級生に技を見せて教える姿やゲーム的なものをした時には一緒に喜ぶ姿が見られます。10～15分程度ですが、声をかけ合いながら、楽しく体を動かしているようです。



縦割り掃除(毎月第1、第3木曜日)

毎日の掃除時間で、広い学校を全部掃除することは、なかなか難しい状況です。そこで、日ごろあまり通らない廊下や階段、丁寧に磨けない手洗い場、使用頻度の低い部屋などは、毎日掃除するのではなく、月2回、掃除時間を使って、縦割りグループで分担してきれいにすることにしています。月に2回なので、その分、ほかの場所よりも汚れているようで、真っ黒になった雑巾を縦割りグループの友達と見せ合って喜ぶ姿が見られました。



このほかにも、5月に行った歓迎遠足も縦割りグループで活動しました。縦割りグループで活動することにより、日ごろとは異なる集団の中で、子どもたちが、いつもは感じない自他のよさを発見したり、自分から行動する緊張感やそれに伴う達成感を味わったりする機会にしていきたいと考えています。

今後は、縦割りグループで給食を食べる活動などの新たな取組も考えていきます。

7月は「福岡県同和問題啓発強調月間」です！

同和問題とは、特定の地域の出身であることなどを理由に、結婚や就職などにおいて不当な扱いや差別的言動を受けるという、日本固有の人権問題です。(北九州市ホームページより引用)平成28年12月「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されましたが、いまだに、差別的な事象が後を絶ちません。

学校では、同和問題だけでなく、現存する差別を自分事として捉え、差別をなくすために努力する人になれるよう、子どもたちを育ててまいりたいと考えております。そのために、まずは「思い込み」や「決めつけ」をせず、互いを大事にできるよう、日々の学習や学校生活の中で指導してまいります。

